

NY マーケットレポート (2019年5月10日)

2019年5月10日 (金)

アジア主要株価	終値	前日比	年初来%
日経平均	21344.92	-57.21	6.65%
ハンセン指数	28550.24	+239.17	10.46%
上海総合	2939.21	+88.26	17.86%
韓国総合	2108.04	+6.03	3.28%
豪ASX200	6310.85	+15.52	11.77%
シンガポールST	3273.50	+3.80	6.67%
インドSENSEX	37462.99	-95.92	3.87%

外国為替	終値	高値	安値
USD/JPY	109.95	110.05	109.48
EUR/JPY	123.55	123.62	123.05
GBP/JPY	143.02	143.24	142.51
AUD/JPY	76.97	77.23	76.57
EUR/USD	1.1236	1.1253	1.1215
BRL/JPY	27.812	27.936	27.564
RUB/JPY	1.688	1.691	1.674

欧州主要株価	終値	前日比	年初来%
英FT100	7203.29	-4.12	7.06%
仏CAC40	5327.44	+14.29	12.61%
独DAX	12059.83	+85.91	14.21%
スペインIBX35	9117.50	+22.30	6.76%
イタリアFTSE MIB	20874.78	+57.62	13.92%
トルコ・イスタンブール100	88533.38	-152.50	-3.00%
ロシアRTS	1213.79	-19.26	13.57%
南ア全株指数	56780.75	+284.67	7.67%

コモディティ	終値	前日比	年初来%
NY GOLD	1286.70	+1.50	0.42%
NY 原油	61.73	+0.03	35.94%
CBOTコーン	350.50	-2.50	-6.53%
CRB指数	178.950	-0.06	5.39%
ドル指数先物	97.320	-0.05	1.19%
VIX指数	16.04	-3.06	-36.90%

米国主要株価	終値	前日比	年初来%
米ダウ平均	25942.37	+114.01	11.21%
S&P500	2881.40	+10.68	14.94%
NASDAQ	7916.94	+6.35	19.32%

南北米主要株価	終値	前日比	年初来%
カナダ・トロント総合	16297.55	-24.20	13.79%
メキシコ・ボルサ指数	43382.35	+188.99	4.18%
ブラジル・ボベスパ指数	94257.56	-550.29	7.25%

Crypto Currency	本日	前日
CBOE Bitcoin(先物・期近)	6275	6070
CME Bitcoin(先物・期近)	6285	6085
Ripple (BSTP)	0.296	0.294
Ethereum (BSTP)	171.50	168.11
Bitcoin Cash	286.21	282.79

日本国債利回り	本日	前日
2年債	-0.157%	-0.155%
5年債	-0.164%	-0.163%
10年債	-0.049%	-0.048%
30年債	0.541%	0.537%

欧州国債利回り	前日
ドイツ10年債	-0.047%
英国10年債	1.125%
フランス10年債	0.350%

米国債利回り	前日
2年債	2.258%
3年債	2.217%
5年債	2.245%
7年債	2.336%
10年債	2.442%
30年債	2.861%

5/13 経済指標スケジュール
14:00 【日本】3月景気一致CI指数
14:00 【日本】3月景気先行CI指数
15:00 【ノルウェー】1Q GDP
15:30 【フランス】4月企業センチメント指数
16:00 【トルコ】3月経常収支

5/13 主要会議・講演・その他予定

NY 市場レポート

« NY 市場概況 »

NY 市場では、トランプ米大統領が中国との通商交渉を急ぐ必要がないとの見方を示したことや、4月の米消費者物価指数が市場予想を下回る伸びとなったことを受けて、ドルは序盤から軟調な動きとなった。さらに、米主要株価指数が軒並み大幅下落となったことも加わり、ドル円・クロス円は軟調な動きとなった。その後、トランプ大統領とムニューシン米財務長官が米中通商協議に関して「建設的だった」との見方を示したことから投資家心理が改善し、米主要株価が軒並みプラス圏まで反発したことから、ドル円・クロス円は堅調な動きとなった。

主要な米経済指標結果

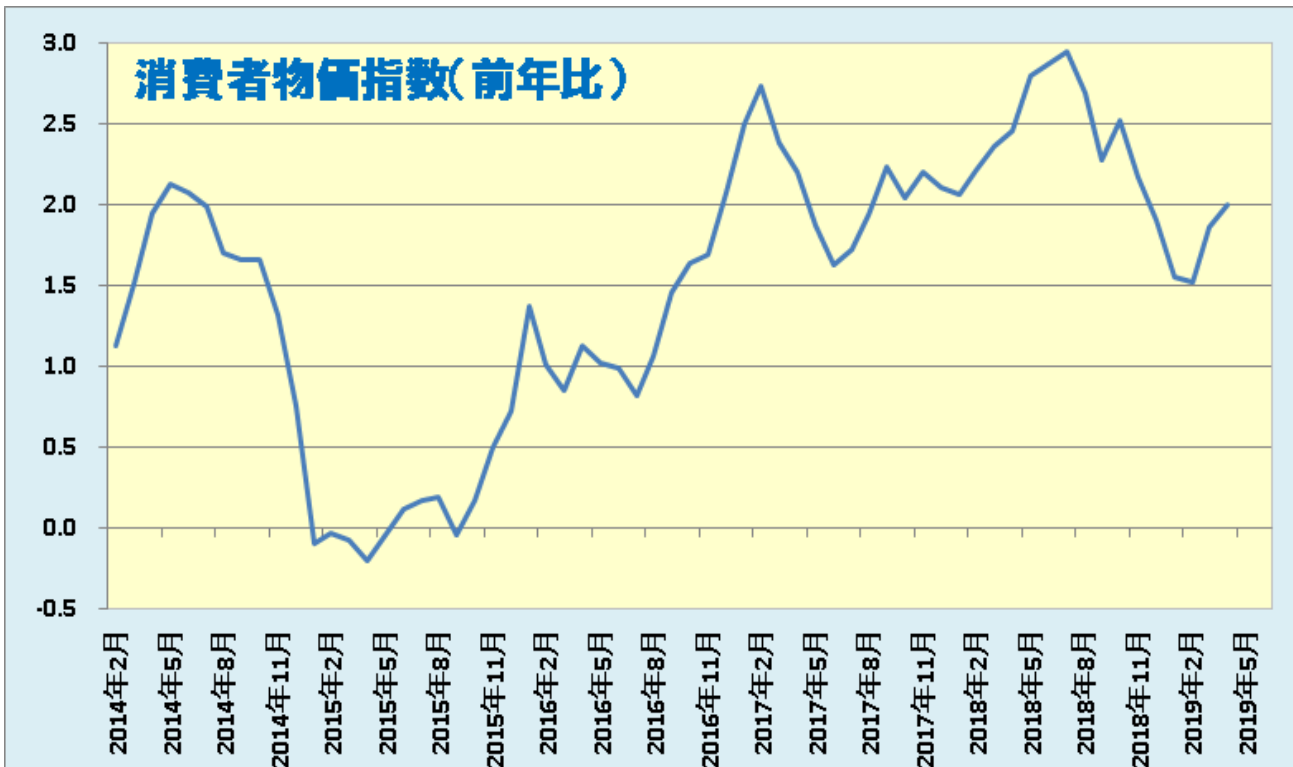
4月消費者物価指数（前月比） 0.3%（予想 0.4%・前回 0.4%）

4月消費者物価指数[コア] 0.1%（予想 0.2%・前回 0.1%）

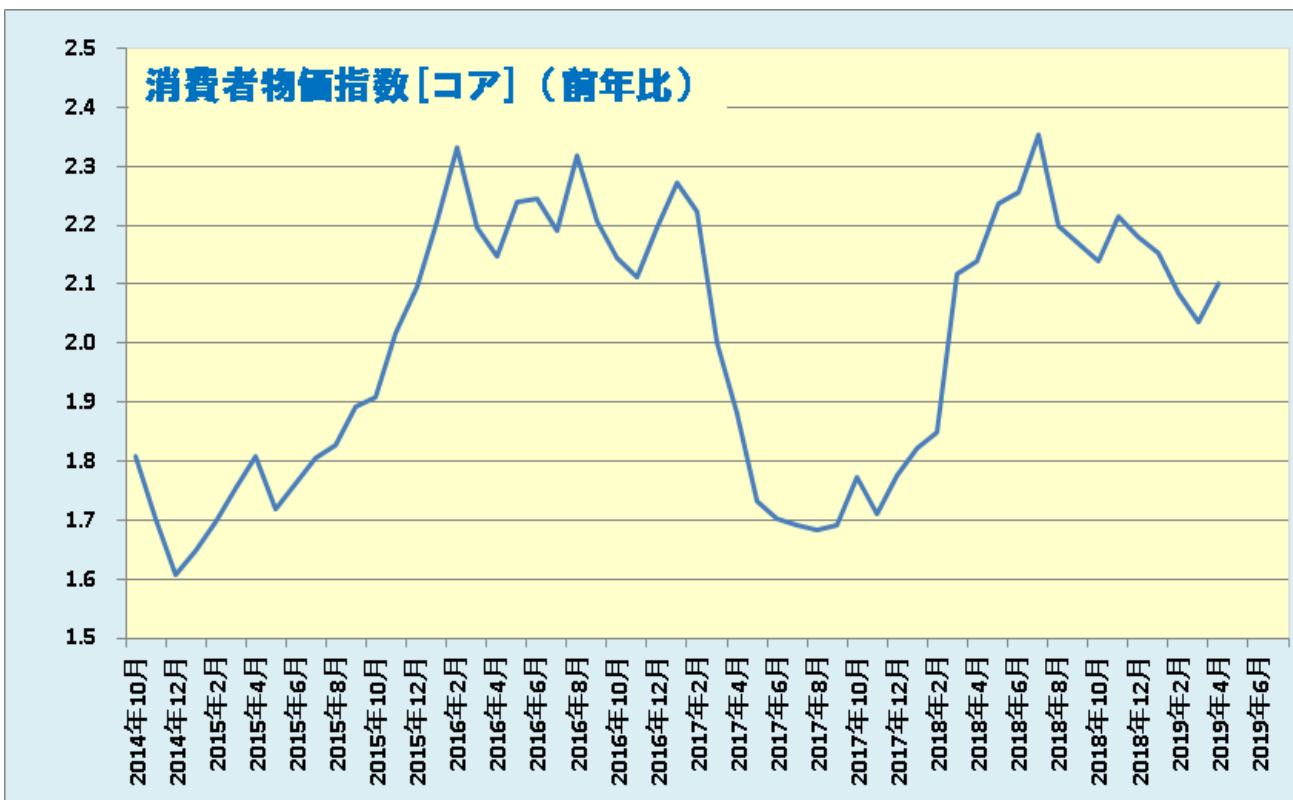
4月消費者物価指数（前年比） 2.0%（予想 2.1%・前回 1.9%）

4月消費者物価指数[コア] 2.1%（予想 2.1%・前回 2.0%）

4月の米消費者物価指数は、前月比、前年比ともに市場予想を下回る結果となった。食品の値下がりの影響したが、前年比ベースでは前回結果を上回り、5ヵ月ぶりに2%台となった。統計データを見ると、前月比ベースでは、エネルギーが2.9%（前月3.5%）、サービスが0.3%（0.3%）、居住費が0.3%（0.3%）、医療費が0.3%（0.3%）となったが、食品飲料は-0.1%（0.2%）、被服費は-0.8%（-1.9%）とマイナスだった。



データを基に SBILM が作成



データを基に SBILM が作成

米主要株価指数は反発、ナスダックは5営業日ぶりの反発

米株式市場は、トランプ米大統領が米中協議に関して全く急ぐ必要がないとの考えを示したことを受けて、米主要株価指数は序盤から軟調な動きとなった。その後、トランプ米大統領とムニューシン財務長官が、米中閣僚級貿易協議について建設的だったと評価したことから投資家心理が改善し、主要株価指数はプラス圏まで上昇した。ダウ平均株価は、序盤から軟調な動きとなり、一時前日比358ドル安まで下落した。その後はプラス圏まで反発となり、190ドル高まで上昇した。結局、114ドル高で終了した。一方、ハイテク株中心のナスダックも序盤に大きく下落したものの、6.35ポイント高で終了し、5営業日ぶりに反発した。



データを基に SBILM が作成

セクター別変動率(ダウ平均)			個別の変動率(ダウ平均銘柄)		
	セクター	変動率		銘柄	変動率
1	消費財	1.50%	1	ウォルマート	2.38%
2	通信サービス	0.76%	2	P&G	1.70%
3	消費者サービス	0.73%	3	コカ・コーラ	1.67%
4	金融	0.63%	4	トラベラーズ	1.50%
5	ヘルスケア	0.58%	5	マイクロソフト	1.30%

データを基に SBILM が作成

ドル円・クロス円は終盤にかけて堅調な動き

トランプ米大統領が中国との通商交渉を急ぐ必要がないとの見方を示したことや、4月の米消費者物価指数が市場予想を下回る伸びとなったことを受けて、ドルは序盤から軟調な動きとなった。さらに、米主要株価指数が軒並み大幅下落となったことも加わり、ドル円・クロス円は軟調な動きとなった。その後、トランプ大統領が、今回の2日間の米中通商協議に関して「建設的だった、交渉は将来も続く」としたこと、さらに今後の協議次第で関税撤廃の可能性を示唆したこともあり、投資家心理が改善した。そして、下落していた米主要株価が軒並みプラス圏まで反発したことから、ドル円・クロス円は堅調な動きとなり、ドル/円は一時110円台まで上昇する場面もあった。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。